

ぶどうの緑枝接ぎによる高接更新法

(園試・大連試験地)

1. 背景とわうい

果内におけるぶどう栽培は、キャンベルを主体に行なわれているが、最近大粒種など新品種への関心が高まっている。

しかし改種による品種更新では、それに係る労力、費用、期間などのマイナス要因のあること、また、従来採の接木方法である呼接ぎ、居接ぎなどでは、活着に問題があることがう、より簡便で効果的な接木法が求められていた。

このため有望品種の登場にそなえ更に苗木の自家生産も考慮し、ぶどうの接木法のなかでも実用性の高いと思われる緑枝接ぎについて接木時期を中心に検討した結果知見が得られたので指導上の参考に供する。

2. 技術内容

1) 緑枝接ぎの適期

- (1) 短梢仕立の接木時期 開花盛から 15~10日前
- (2) 長梢仕立の接木時期 開花盛から 20~10日前

2) 一樹当りの更新規模

- (1) 一挙更新とする
 - ① 短梢8年生樹で、40~60ヶ所
 - ② 長梢13年生樹で、70~100ヶ所

3) 緑枝接ぎの手法

- (1) 緑枝接ぎ予定樹は、樹勢を強めるよう剪定時に樹を20~30%切りつめる、また、結果母枝も2~3節に短截する。
- (2) 中間台は新梢の基部から7~10cm残して切り、割り接ぎする。
- (3) 穂木は1芽をつけ5~7cm程度とし、接木台の太さに合ったものを選び基部2~3cmを鋭角のフサビ型に削る。

3. 指導上の留意事項

- 1) 穂木の採取は新梢の基部2~3芽を捨て中央部まで使う、穂木の削り面を均一にする。
- 2) 接目は形成層を合わせ接木用テープで巻き乾燥防止に努める。
- 3) 接木後中間台より不定芽が発生するので5~7日おきに除去し、穂木へ養分を集中させる
- 4) 接木用テープは8月上旬までに取りはずす。
- 5) 短梢仕立に当っては花振性の強い大粒種等の接木はさける。
- 6) 漸進更新は接がない枝に養分が取られ活着が劣るので園内の更新予定樹を定め、一樹単位に計画的に行う。

4. 参考文献・資料

- 1) 岩手県園芸試験場大連試験地 試験成績書 (昭和57~59年度)
- 2) 山形県園芸試験場「ブドウの高接更新に関する試験」 (昭和55~56年度)
- 3) 長野県中信農業試験場「ブドウの緑枝接ぎに関する試験」 (昭和54~55年度)

5. 試験成績.

表1 緑枝芽ぎの活着状況 (キマンベル + 巨峰)

試験区	項目	7月調査		10月調査			登熟梢長分布(%)			
		接木本数 (本)	活着率 (%)	実質活着率 (%)	全梢長 (cm)	登熟梢長 (cm)	登熟率 (%)	1m 以上	50cm ~1m	50cm 以下
短 梢 仕 立	昭58	12	83.3	66.7	193.5	67.4	34.8	13	50	37
	-20日昭59	39	94.9	92.3	99.5	39.0	39.2	8	22	70
	平均	25.5	89.1	79.5	146.5	53.2	36.3	10	36	54
	昭58	32	75.0	65.6	203.4	117.1	57.6	52	38	10
	-15日昭59	35	91.4	85.7	93.7	49.3	52.6	17	23	60
	平均	33.5	83.2	75.7	148.6	83.2	56.0	35	30	35
	昭58	38	76.3	73.7	169.0	90.4	53.5	32	50	18
	-10日昭59	30	80.0	80.0	163.9	99.1	60.5	50	29	21
	平均	34	78.2	76.9	166.5	94.8	57.0	41	40	19
	昭58	24	95.8	95.8	158.5	84.1	53.1	35	43	22
	-5日昭59	29	55.2	37.9	171.1	92.7	54.2	36	46	18
	平均	26.5	75.5	66.9	164.8	88.4	53.7	35	45	20
開花 盛	昭58	33	63.6	63.6	212.0	107.6	50.8	62	33	5
昭59	21	95.2	47.6	102.7	49.1	47.8	0	40	60	
平均	27	79.4	55.6	157.4	78.4	49.8	31	37	32	

長 梢 仕 立	昭58	18	94.4	83.3	174.6	114.3	65.5	53	27	20
	-20日昭59	42	64.3	64.3	92.4	64.9	70.2	30	22	48
	平均	30	79.4	73.8	133.5	89.6	67.1	41	25	34
	昭58	48	70.8	56.3	214.9	138.5	64.4	67	15	18
	-15日昭59	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	48	70.8	56.3	214.9	138.5	64.4	67	15	18
	昭58	53	75.5	71.7	107.8	61.2	56.8	26	18	56
	-10日昭59	19	79.0	79.0	217.6	135.3	62.2	80	7	13
	平均	36	77.3	75.4	162.7	98.3	60.4	53	12	35
	昭58	39	87.2	84.6	51.0	29.3	57.5	0	30	70
	-5日昭59	24	33.3	29.2	85.3	48.6	57.0	14	14	72
	平均	31.5	60.3	56.9	68.2	39.0	57.2	7	22	71
開花 盛	昭58	49	87.8	73.5	98.2	57.9	58.7	17	44	39
昭59	25	96.0	32.0	41.0	12.4	30.2	0	0	100	
平均	37	91.9	52.8	69.9	35.2	50.4	8	22	70	

注) 1. 実質活着率は、発芽・展葉後枯死したものを除いた値。

2. 開花盛、昭和58年6月16日。昭和59年6月26日。

3. 昭和59年-15日区は、主枝損傷のため削除。